

豊の国学中央講座 ～リレー講演会～

様々な角度から「豊の国（大分県）」を見ていただくため、

豊の国の「人」「文化」「産業」「自然」についてのリレー講演(40分)を行います。

日時

平成29年

11月23日(木・祝)
(受付9:30～)

10時00分 開会

16時40分閉会予定

会場

ホルトホール大分
サテライトキャンパス講義室
(大分県大分市金池南一丁目5-1)

対象

一般の方
(各講座45名まで)

受講料
無料

ただし事前の申込みが
必要となります。

【申込締切】

平成29年11月2日(木) 必着
※申込方法は裏面をご確認願います。



学と学の連携による知の総合交流拠点
大分高等教育協議会

10:00～

開会行事

10:05～

南蛮文化発祥都市大分が育んだ音楽家たち

人

講師：大分県立芸術文化短期大学 名誉教授 宮本 修

明治24年大分師範附属小出身・瀧廉太郎作品「荒城の月」の魅力について、昭和28年ドイツで「荒城の月」を歌い広めた荷揚町・金池小出身・中山悌一が語った名曲秘話。「荒城の月」の原風景は府内城の石垣が育んだものである。

10:50～

大分の光について学ぼう！

産業

自然

講師：大分工業高等専門学校 講師 田中 大輔

大分県の光事情(太陽電池、街灯など)および、基本的な光の性質(偏光、分光)と応用技術について話をします。

11:35～

ラグビーにみる多様性文化とビジネス

産業

講師：日本文理大学 教授 永松 昌樹

ラグビーワールドカップを迎える都市に暮らす方々を対象に、文化・経済にみるラグビー界の特異性について解説します。

12:15～13:30

休憩

13:30～

これからの社会

人

産業

講師：別府大学 教授 篠藤 明德

「人口減少」の中で「地方消滅」が言われています。しかし、今日私たちが遭遇しているのは、それ以上に、人工知能などによるパラダイム・シフトです。こうした大変化の中、大分で住む私たちはどのように未来を構想すべきなのか、を共に考えていきます。

14:15～

観光地域づくりの財源を考える
「日本版DMO」論議によせて

産業

講師：立命館アジア太平洋大学 教授 牧田 正裕

いま注目の地域観光の司令塔「日本版DMO」に関する県内の動きと海外を含む他地域の先行事例を比較検討し、今後の観光地域づくりの方向性について財源(とくに税負担)という観点から考察します。

14:55～15:10

休憩

15:10～

大分県の中の朝鮮半島

文化

講師：別府溝部学園短期大学 学長 溝部 仁

宇佐八幡宮の出発点ともいわれる御許山と朝鮮・中津大貞八幡宮と朝鮮との関係や、宇佐八幡宮最大の祭祀である行幸会と朝鮮について考察します。

15:55～

天文学と大分県

人

自然

講師：大分大学 教授 仲野 誠

天文学は宇宙のことを研究するサイエンス。そして、地球上のどこから見ても宇宙は同じはずです。ここでは大分県と天文学を結ぶ人や自然についてお話をします。

16:35～

閉会行事